

特別研究Ⅲ (Graduation Research Work Ⅲ)

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
高崎 昭彦、柴田 英治、千原 猛、星野 真理 森 啓至、小菅 優子、杉浦 諭、山口 央輝 榎本 喜彦、澤田 浩秀、伊藤 康宏、井上 孝	2年次 後期	必修	3	72	演習		巻末掲載	可
授業概要 (内容と進め方) 及び 課題に対する フィードバック方法	特別研究Ⅲでは、各領域における専任教員が、それぞれの研究分野における専門性の高い研究指導を行なう。データの蓄積により、特別研究Ⅱまでの結果の解釈とは異なることがあるが、研究倫理に則った対処が要求される。これら、研究の基礎的能力の構築の上に集積した研究成果をまとめ、修士課程の学修者としてふさわしい修士論文を完成させる。課題に対するフィードバック方法/解析結果のレポートなどについて、担当教員が責任を持って解釈・解説をし、課題とその結果に対する考え方を共有する。							
授業の位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー③「健康に対する社会的ニーズを認識するとともに、グローバルな視野を持ち、科学的根拠に基づき、自ら考え、判断し、課題解決に向けて対応することができる。」及び⑤「自ら積極的に臨床検査学の課題を探索し、主体的に解決しようとする能力と研究的視点を備え、科学的探究心を持ちながら継続的に研究を遂行できる。」の達成に寄与している。							
到達目標 (履修者が到達 すべき目標)	1. 研究課題についての的確な実験を遂行することができる。 2. 研究課題について実施した実験結果について深い考察をすることができる。 3. 研究課題、実験方法、考察をまとめ、修士論文を作成することができる。							
時間外学習に必要な 学修内容および 学習上の助言	第1回～第36回事前学習：事前に計画されている単元について予習を行っておく/シラバスに記載された内容を調べておくこと。(各30分) 第1回～第36回事後学習：研究内容の疑問や結果の解析で不明な点は、担当教員に質問するなどして明確にするよう努める/文献や担当教員から配布された資料で復習を行うこと。(各30分) ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間(2単位15回科目の場合：予習+復習4時間/1回)(1単位15回科目の場合：予習+復習1時間/1回)(1単位8回科目の場合：予習+復習4時間/1回)を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。							
授業計画	第1回～第5回	特別研究Ⅱに引き続き、実験を進め、データの蓄積を行う。					担当教員	
	第6回～第10回	データの蓄積を進めるとともに再度、結果の解析と解釈を行う。					担当教員	
	第11回～第15回	結果の見直しなど修士論文作成の準備					担当教員	
	第16回～第20回	結果の解釈と考察。修士論文の作成					担当教員	
	第21回～第25回	修士論文の作成。抄録の作成。					担当教員	
	第26回～第36回	修士論文を完成させる。 最終審査のためのプレゼンテーションの準備					担当教員	
評価方法 評価基準	課題に対するレポート(20%)、プレゼンテーションの内容(30%)、修士論文(50%)で評価する。							
教科書	教科書は特に指定しない。			参考書等		参考文献等は適宜、紹介する。		
学生への メッセージ	特別研究Ⅲは修士論文の作成を行うための研究成果の集大成である。生涯残る修士論文であるから、些細な言葉遣いを含めて落ちないように精査すること。							